

平成 31 年 4 月 26 日

伊予市議会議長 佐川 秋夫 様

議員氏名 武智 実



平成 30 年度政務活動費収支報告書

伊予市議会政務活動費の交付に関する条例第 6 条第 1 項に基づき、下記のとおり平成 30 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

- 1 収入（政務活動費） 120,000 円
2 支出 88,900 円

内訳

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	47,880	会派合同行政視察
研 修 費	41,020	市町村アカデミー
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	88,900	

- 3 残額 31,100 円

(注)

- 1 備考欄には、主たる支出を記入してください。
- 2 この報告書には、支出が明らかな領収書等の証拠書類を添付してください。

参考様式第4号

旅費等支出計算書

旅行者氏名	武智 実		
用 務	会派合同行政視察		
調 査 日 程	平成31年 1月28日 ~ 平成31年 1月29日		
調 査 先	静岡県熱海市中央町1-1 熱海市役所 東京都千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎第8号館		
支 出 内 訳	1 旅費		47,880 円
	内訳		
	(運賃等1 航空運賃	松山空港⇄羽田空港	28,380 円)
	(運賃等2 鉄道賃・新幹線代	羽田空港⇒品川駅⇒熱海駅	4,400 円)
	(運賃等3 ※東海バス	熱海駅⇄清水町	460 円)
	(運賃等4 ※鉄道賃	熱海駅⇒国会議事堂前駅	2,110 円)
	(運賃等5 ※鉄道賃	国会議事堂前駅⇒羽田空港	730 円)
	(宿泊費※		11,800 円)
	2 付随する経費		円
	内訳		
	(参加費 (宿泊費込)		円)
	(資料代		円)
	(手土産代	円× カ所=	円)
(その他1 (内容)	円)	
(その他2 (内容)	円)	

※1旅費のうち、運賃3東海バス、運賃4・5鉄道賃の領収書は添付なし。

使途項目	調査研究費			
整理番号	1			
領収書等貼付欄				
<p>領 収 書 No 005616</p> <p>959ミル 殿</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>金額</td> <td>¥28,880</td> <td>印紙</td> </tr> </table> <p>但し 上記金額正に領収致しました。</p> <p>取扱者  20年12月25日  〒790-0026 松山市幸町2丁目7番 TEL (089) 941-8686</p>		金額	¥28,880	印紙
金額	¥28,880	印紙		
按分率 (按分による支出の場合に使用) %				
その他 航空運賃 (松山空港⇄羽田空港)				

使途項目	調査研究費					
整理番号	2					
領収書等貼付欄						
<p>領 収 書 No 005642</p> <p><u>タケタミル 殿</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>金額</td> <td style="text-align: right;">¥44,000</td> <td rowspan="2" style="border: 1px dashed black; text-align: center; vertical-align: middle;">印 紙</td> </tr> <tr> <td colspan="2">但し 上記金額正に領収致しました。</td> </tr> </table> <p>取扱者  2011年 1月 17日</p> <p style="text-align: center;">  〒790-0026 松山市幸町2丁目2-5 TEL (089) 911-8686 </p>		金額	¥44,000	印 紙	但し 上記金額正に領収致しました。	
金額	¥44,000	印 紙				
但し 上記金額正に領収致しました。						
按分率 (按分による支出の場合に使用) %						
その他 鉄道賃 (羽田空港⇒品川駅) 新幹線代 (品川駅⇒熱海駅)						

参考様式第5号

領収書等貼付用紙

議員氏名

使途項目	調査研究費
整理番号	3
領収書等貼付欄	

領 収 証

No. 07502

31年 1月 29日

式 智 実 様

金額

¥ 17,430-

但し御宿泊代として
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

味わい広がる、眺めの宿



しょうかえん
秀花園



〒413-0023 静岡県熱海市和田浜南町7-13
TEL 0557-83-5151 FAX 0557-83-3933

按分率 (按分による支出の場合に使用)

% 11,800円

その他

伊予市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例に規定される金額を宿泊料として計上

出張報告書

議員氏名 武部 実 

<p>使途項目</p>	<p>調査研究費</p>
<p>活動目的</p>	<p>営業庁市役所</p>
<p>出張先</p>	<p>熱海市</p>
<p>出張期間</p>	<p>平成31年 1月28日 ~ 1月29日</p>
<p>概要</p> <p>熱海市は人口3.7万人（前年比変化）一時は宿泊客数が12万人→22万人と減収が今年200万人突破に増加している。市の民間の協力による結果である。財政危機宣言をい産業建設計画と見直し、民間投資プロジェクトを立ち上げ、企業とのパートナーシップ協定、A-biz（熱海市レベル）のセンター作り、商談場所と市で連携し、交通ネットワークで商店を支援。又市の有地活用計画と並行し、資金面での相談やあらゆる情報ネットワークを利用し、産業の活性化につなげる。市の経済産業省の招へり、市と企業のコラボ、市の先進的な地域の活力。これは（前年比）を参考に今の研究であった。</p>	
<p>その他</p>	

参考様式第4号

旅費等支出計算書

旅行者氏名	武智 実		
用 務	市町村アカデミー		
調 査 日 程	平成31年1月15日 ~ 平成31年1月16日		
調 査 先	千葉県美浜区浜田1丁目1番 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）		
支 出 内 訳	1 旅費		31,020 円
	内訳		
	（運賃等1 航空運賃	松山空港⇄羽田空港	28,380 円)
	（運賃等2 ※リムジンバス	羽田空港⇄J R海浜幕張駅	2,300 円)
	（運賃等3 ※市内バス（京成バス）	J R海浜幕張駅⇄市町村アカデミー	340 円)
	（宿泊費	参加費に含まれている）	
	2 付随する経費		10,000 円
	内訳		
	（参加費（宿泊費込）		10,000 円)
	（資料代		円)
	（手土産代	円× カ所=	円)
	（その他1（内容	）	円)
（その他2（内容	）	円)	
（その他3（内容	）	円)	
（その他4（内容	）	円)	
（その他5（内容	）	円)	

※1 旅費のうち、運賃2リムジンバス・運賃3市内バスの領収書は添付なし。

領収書等貼付用紙

議員氏名 **武智 実**

使途項目	研修費
整理番号	4
領収書等貼付欄	

領 収 証		No. 107217
武智実様		平成30年10月19日
金額	¥28380	現金・小切手 振込・カード その他
但し 上記金額正に領収致しました		
収入 印紙	 観光庁長官登録旅行業第613号 株 日本交通社 代表取締役 光田 秀之 <input checked="" type="checkbox"/> 本社 松山市勝山町1丁目18-10(日本交通社ビル) ☎(089)9464391(代) FAX 941-6211 <input type="checkbox"/> 大洲 大洲市中村2-3-1(愛媛舗道ビル3階) ☎(0893)24-7911(代) FAX 24-1125	取扱者印 

按分率 (按分による支出の場合に使用) %
その他 航空運賃 (松山空港⇄羽田空港)

参考様式第5号

領収書等貼付用紙

議員氏名 武智 実

用途項目	研修費
整理番号	5-1
領収書等貼付欄 別紙のとおり	
按分率 (按分による支出の場合に使用) % 円	
その他	

整理番号 455
領収書発行日 平成31年1月17日

領 収 書

武智 実 様

¥10,000※

但し、研修負担金として。

研修科目 : 市町村議会議員特別セミナー
受講者氏名 : 武智 実

入金日 : 平成30年12月28日
入金方法 : 銀行振込

千葉県美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修所
分任出納役 石橋美秀



出張報告書

議員氏名

武新実 

<p>使途項目</p>	<p>研修費</p>
<p>活動目的</p>	<p>研修</p>
<p>出張先</p>	<p>市町村マカオ</p>
<p>出張期間</p>	<p>平成31年 1月15日～1月16日</p>
<p>概要 1日目 21日の政治の行方と課長の居訪先生の講義 不透明な米トランプ政権 中国の台頭 日韓の齟齬は ITと不安がある 地方自治や外国人労働者問題 ITと変わる地域社会の展望で牧野太郎先生の21日の地方 の仕事が変わる 21日はマ地域経済循環への対応 スマート自治体 地域力を高める国を自治 自主的に 2日目 転換期の日本経済で井手先生の講義 自己責任社会 を込めぬに増税と安心な社会の良し ステータス にあげ 人は何を求めているか安定した社会に求められ 税 負担に出生率の低下は国の安定を図る 50代の受給者 である財政戦略に受けるべきと同様に 地域を包括システムとまちづくり 田中先生のは少し声の小さい 解りにくくは 介護にかまは オウジ勉強 1つだけと思ふ</p>	
<p>その他</p>	